

## 第40回望星旗少年武道大会（柔道の部）実施要項(改訂版)

1. 目的 望星という名称は、東海大学建学の教育指針の一つである「若き日に汝の希望を星につなげ」に由来する。希望を胸に常に前進する姿は未来を背負う少年達の姿である。本大会は、柔道、剣道の武道を通して心身ともに健康で希望溢れる少年を育成することを目的とする。
2. 主催 学校法人東海大学
3. 主管 学校法人東海大学望星学塾（運営事務局）  
東海大学体育学部武道学科（柔道コース）（大会運営担当）  
東海大学スポーツプロモーションセンター（実行委員会事務局）
4. 期 日 2022年10月23日(日)  
【低 学 年】※リーグ  
開 場： 8時00分（受付開始）  
審判・監督者会議： 8時30分（地下道場）  
開会式： 9時00分  
試 合： 9時15分  
表彰式・閉会式： 11時15分～11時30分  
【高 学 年】※トーナメント  
開 場： 12時00分（受付開始予定）※低学年の進行により、後ろにずれる可能性有  
審判・監督者会議： 12時30分（地下道場）  
計 量： 12時15分～13時00分（付属体育館）  
開会式： 13時00分  
試 合： 13時15分  
表彰式・閉会式： 15時45分～16時00分
5. 会 場 東海大学湘南キャンパス武道館 神奈川県平塚市北金目4-1-1
6. 参加資格 (1) 低学年の部（監督1名、選手3名）、高学年の部（監督1名、選手5名）  
(2) 参加する選手は、2022年4月現在において小学校1年生以上の児童である（幼児不可）。  
(3) チームは責任者のいる団体であること。  
(4) 出場チームは、全日本柔道連盟に団体登録していること。また、選手はその団体から登録していること。  
(5) 出場チームの監督又はコーチのうちいずれかは、全日本柔道連盟公認指導者資格（C指導員）以上を保有し、大会当日は有資格者が監督又はコーチとしてチームに帯同していること。  
(6) 本大会の運営事務局より案内要項が届いた団体に限る。出場チームは1団体につき、低学年の部・高学年の部、各1チーム登録が可能。  
(7) 選手本人の出場・参加意思を確認し、直近7日間の検温及び健康状態調査を行い、大会当日に健康状況チェックシート及び参加同意書へ署名をし、受付へ提出する。
7. 参加申込 (1) 出場チームは、出場選手申請書を、ホームページ『東海スポーツインフォメーション』から必要書類をダウンロードおよび入力し、運営事務局宛へメールにて申込む。  
東海スポーツインフォメーション【[http://www.u-tokai.ac.jp/campus\\_life/tokai\\_sports/](http://www.u-tokai.ac.jp/campus_life/tokai_sports/)】  
(2) 大会参加申込先：運営事務局宛 [学校法人東海大学望星学塾]  
E-mail: [bosei@tokai.ac.jp](mailto:bosei@tokai.ac.jp) FAX: 0422-53-1025  
学校法人東海大学望星学塾 望星旗武道大会（柔道の部）運営事務局  
担当：原口・井澤 宛  
(4) 申込期日：2022年9月25日(日) 必着
8. 参加費 低学年の部・・・3,000円、高学年の部・・・5,000円  
振込期限：2022年9月25日(日)までに下記へお振込みください。  
振込み先：横浜銀行（0138） 東海大学駅前支店（663）  
[種別] 普通預金 [口座番号] 133707  
[口座名義人] 学) 東海大学 ガク) トウカイダイガク  
※振込の際、振込名義(学校名)の頭に必ず「02」と付ける。  
松前柔道塾の例「02 マツマエジュウドウジュク」
9. 選手変更 登録選手の変更は、傷病者の場合に限り認める。

10. 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定で行い、望星旗大会申し合わせ事項を併用する。  
 (2) 試合時間は各部門2分間。ただし、高学年決勝戦のみ3分間とする。

11. 組合せ

12. チーム編成

主催者が行う。

- (1) チームの編成は道場単位とする。

- ①低学年の部は、3人制で体重の軽い順に配列する。

区分	学年
先鋒	2年生
中堅	3年生
大将	3年生

※先鋒のみ1年生の出場を認める。

- ②高学年の部は、5人制で体重区分を設ける。

区分	学年	体重
先鋒	4年生	無差別
次鋒	5年生	45kg以下
中堅	5年生	無差別
副将	6年生	50kg以下
大将	6年生	無差別

- (2) 下学年の選手は、上学年の選手の位置(体重区分による)に出場できる。ただし、選手は学年順に配列する。

- (3) 高学年の次鋒・副将は計量を実施する。

計量時間：12時15分～13時00分(付属体育館)

- (4) 公式計量の服装については、下穿きとする。

13. 試合方法

- (1) 低学年の試合は、3チーム又は4チームによるリーグ戦のみ行う。決勝トーナメントは行わない。高学年はトーナメント戦。

- (2) 各チーム低学年は3名、高学年は5名の点取り対抗戦とし、試合毎固定のオーダーとする。

- (3) 勝敗の判定基準について

勝敗の決定基準は、「一本(合技)」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、「指導」差が2以上とする。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。

- (4) 低学年(リーグ戦)における順位決定は、次のとおりとする。

(ア) 勝者総数の多いチームを上位とする。

(イ) (ア)で同等の場合は、「引分」とする。

- (5) 高学年(トーナメント)の勝敗決定の方法は、次のとおりとする。

① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

② 勝ち数が同じときは内容(「一本勝ち」「技有り」「優勢勝ち」の勝ち数)による。

③ 内容も同じときは、代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。

④ 代表選手出場する選手は、「引き分け」の中から抽選で1組を選んで通常の2分間の試合を行う。

⑤ 得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。なお、ゴールデンスコアは行わない。

<望星旗大会申し合わせ事項>

A) 寝技の攻防において、あまりに無理な体勢(肩等)の場合は審判の判断により「待て」を宣告する。

B) 場外の判断に関しては、正規の試合場ではないため片方の選手が出た場合は「待て」を宣告する。寝技においては安全面を考慮し、主審の判断に委ねる。

C) 通称逆背負投げや両袖を持った技に関しては国内における少年大会特別規定を採用する。

D) 柔道衣の乱れに対する新たな罰則は審判より口頭注意のみとし、指導は取らない。

14. 表彰 低学年：参加者全員を表彰。チーム内で1本勝ち、または勝ちが多い選手1名に対し MVP 賞を授与。  
 高学年：優勝、準優勝、3位(2チーム)、敢闘賞(4チーム)を表彰する。

## 15. 安全対策

- (1) 安全管理には、医師または、看護師を配置し万全を期す。
- (2) 参加する選手は、各団体または各自で保険に加入する。
- (3) 大会中の不慮の負傷・疾病については、応急的な一時処置は主催者側で行うが、それ以上の責任は負わない。
- (4) 選手また当日の入場者は、直近7日間の検温及び健康状態調査を行い、大会当日に健康状況チェックシート及び参加同意書へ署名をし、当日受付へ提出する。
- (5) 新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。
- (6) 新型コロナウイルス感染症等も含み、主催者側が実施不可と判断した場合は、大会当日であっても中止となる場合がある。
- (7) 東京都、神奈川県に緊急事態宣言または、まん延防止等重点措置が発令された場合は、中止とする。また、神奈川県柔道連盟主催大会が開催されない場合も中止とする。
- (8) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
- (9) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
  - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④ 大会事務局に対し、書面により事故報告書を提出すること。

## 16. その他

- (1) 「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針（Version 6）2022/05/11」（（公財）全日本柔道連盟発行）及び大会指針に基づき参加団体を承認する。場合によっては、試合参加が認められないこともある。
- (2) 監督の言動・行動については原則（公財）全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」に従う。
- (3) 低学年と高学年、及び控え場所と試合場は完全入れ替え制で運営する。  
※低学年終了後に清掃するため、高学年の試合があったとしても参加者は全員一度退館する。  
※試合に出場するチーム（登録済み帯同者等）以外の入館は不可。  
※表彰対象者以外は、チームの試合が終了後退館。（低学年は試合終了後、その場で表彰をする）
- (4) 保険証を必ず持参すること。
- (5) 大会期間中の貴重品等は、各チームで責任をもって管理する。破損・盗難等の責任は負わない。
- (6) 昼食時間は設けない。なお、武道館内（付属体育館含む）全てにおいても食事を禁止すとする。
- (7) ゴミ等は必ず各自で持ち帰ること。
- (8) 自家用車での来場を希望する団体には、大会事務局より別途案内を送付する。

### 〈観戦について〉

- (1) 大会申し込み選手人数分の帯同保護者の入場を認める。  
※エントリー選手人数分：低学年最大3名、高学年最大5名の入場者を認める  
※別紙、保護者リストを申請し、大会当日、直近7日間の健康状況チェックシート及び参加同意書を受付へ提出。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、大会実行委員会より指定された場所で待機また観戦を行うこと。

17. 参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて大会実行委員会は、大会参加申込書等で取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して下記のとおり対応する。

## 記

### 1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- ① 大会プログラムに掲載される。
- ② 競技会場内でアナウンス等により紹介される場合がある。
- ③ 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがある。
- ④ 組み合わせ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがある。
- ⑤ 氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期するため、大会開催前に報道機関に提供する場合がある。

### 2 競技結果(記録)等の取り扱い

- ① 大会事務局が作成する大会結果を大会関係ホームページ等で公開する。
- ② 主催者に認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び大会関連ホームページ等で公開される場合がある。
- ③ 大会プログラム掲載の個人情報とともに、主催者が作成する大会報告書に掲載される。
- ④ 優勝及び上位入賞結果(記録)等は、次年度以降の大会プログラムに掲載される場合がある。

### 3 肖像権に関する取り扱い

- ① 主催者に認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び大会関連ホームページ等で公開されることがある。
- ② 主催者に認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映及びインターネットにより配信される場合がある。また、DVD等に編集され、配付される場合がある。
- ③ 大会時に撮影する映像(ケアシステム等)を審判員及び指導者の技術向上のための研修会資料として使用する場合がある。

### 4 実行委員会としての対応について

- ① 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはない。
- ② 参加申込書の提出により、上記取り扱いに承諾したものとして対応する。
- ③ 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、実行委員会と大会に関する契約をしている者、大会運営関係者及び観客の皆様については、上記取り扱いに承諾したものとして対応する。

## 18. 大会事務局

### **[運営事務局] 学校法人東海大学望星学塾**

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保1-17-1

TEL 0422-51-0161 E-mail: [bosei@tokai.ac.jp](mailto:bosei@tokai.ac.jp)

担当: 原口、井澤

### **[実行委員会事務局] 東海大学スポーツプロモーションセンター**

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

TEL 0463-58-1211 (代表) E-mail: [spc-event@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:spc-event@tsc.u-tokai.ac.jp)

担当: 原口